

日本語を学びたい人、
教えた人はいませんか？

講師に聞きました！

Q 講師と生徒の数は？
A 講師は25人、生徒は約100人です。



Q 教室の活動内容は？
A 砂田 真理さん (津山にほんごの会 副会長)
日本語の学習支援
のほか、生徒同士の交流を深めるイベントも行っています。講師は毎年研修を受け、スキルアップに励んでいます。

Q 活動の中で感じることは？
A 母国を離れ、言葉も習慣も違う国で暮らす生徒たちの頑張りや、自国への誇りを感じ、元気をもらっています。

生徒の声

仕事のために日本へ来て4年になります。教室で先生と話をしたり、他の生徒さんと交流したりするのがとても楽しいです。日本語の上達のコツは、日本人の先生と勉強をすることだと思います。



ド ティ フォンさん (出身国：ベトナム)

日本語教室を開催しています

〒708-8501津山市山北520津山にほんごの会事務局 (地域づくり推進室内：市役所3階)
☎32-2032、FAX 32-2152、✉chiikizukuri@city.tsuyama.lg.jp

ボランティア団体「津山にほんごの会」が行う日本語教室です。日本語を学びたい外国人、講師として活動する人を募集しています。募集状況など、詳しくはお問い合わせください。

生活で使う日本語を勉強したい人へ

市内4カ所で毎週開催しています (祝日・年末年始などを除く)。

- とき ①毎週火曜日午前10時～11時
②毎週水曜日午後2時～3時
③毎週木曜日午前10時15分～11時15分
④毎週木曜日午後8時～9時10分

- ところ ①高野公民館 (高野本郷)
②院庄公民館 (神戸)
③津山男女共同参画センター「さん・さん」(アルネ・津山5階)
④グリーンヒルズ津山リージョンセンター (大田)

受講料 1回200円 (18歳未満で働いていない人=100円、中学生以下の人=無料)

日本語能力試験 (JLPT) を受けた人へ

N2、N3レベルの試験を受けたい人が勉強する教室です。

開催日は「津山にほんごの会」フェイスブックページをご覧ください。

とき 日曜日 (月2回程度)

ところ さん・さん

受講料 1回300円



フェイスブックページ

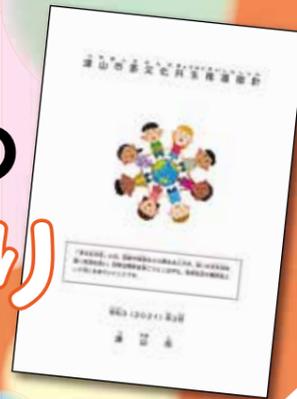


令和元年度以前の教室の様子

進めよう

多文化共生のまちづくり

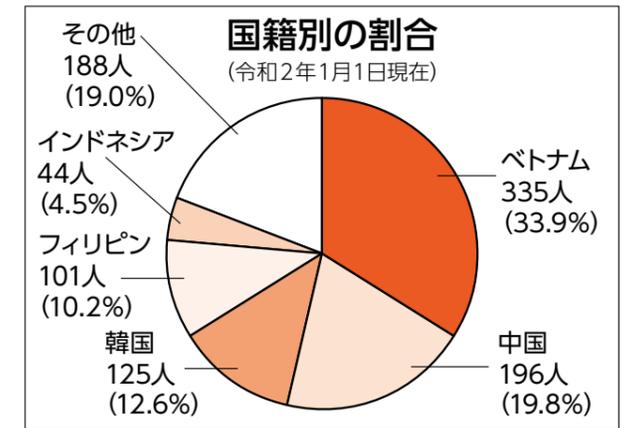
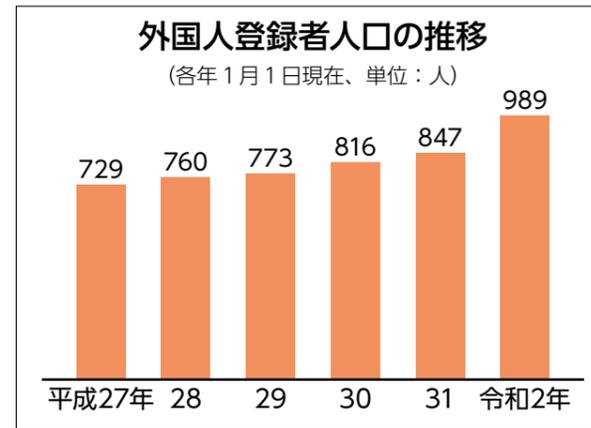
問 地域づくり推進室
☎32-2032



地域の企業で働く人が増えるなど、津山市で暮らす外国人市民は年々増加しています。市では、令和3年3月に「津山市多文化共生推進指針」を策定しました。国籍や民族が異なる人々が、文化や生活習慣の違いを認め合い、地域の一員として共に幸せに暮らすことができる「多文化共生」のまちづくりを進めています。

日本人市民も外国人市民も、それぞれが持つ魅力や個性、多様性を生かし、誰もが活躍できるまちを目指しましょう。

津山市内に住む外国人市民



令和2年1月1日現在、36カ国989人の外国人市民が暮らしており、市民の約1%が外国人です。平成27年と比べると、260人増加しました。

職場や学校など、国籍や民族が異なるさまざまな人が一緒に生活する場面が増えています。

どんなことをすればいいの？

相手への理解を深めよう

日本では当たり前だと思っていることが、文化や習慣が違う国の人には分からないことがあります。

日本での生活のルールを学んでもらうだけでなく、相手の文化や習慣を理解し、偏見や誤解をなくしましょう。

話し掛けてみよう

令和2年に外国人市民に実施したアンケートでは、95%を超える人が、簡単な日本語なら聞いたり話したりできると答えました。

「外国語は分からないから」と遠慮したり、恥ずかしがったりせず、まずは笑顔で「こんにちは」と、簡単な日本語で話し掛けることから始めましょう。

使ってみよう！「やさしい日本語」

外国人と話す時や、町内のお知らせを作る時に「短い文章にする」「漢字にふりがなをふる」など、小学2・3年生の子どもが分かるように表現しましょう。「やさしい日本語」にすることで、外国人だけでなく、障害のある人や高齢者にも伝わりやすくなります。

例えば…

- ・危険→**危**ない
- ・無料→**お**金は **い**りません
- ・土足厳禁→**靴**を **脱**いでください

外国人のサポートや交流をしてみたい人へ
津山市国際交流サポート
ネットに登録しませんか
問 地域づくり推進室 ☎32-2032

国際化を進める活動にボランティアとして参加する人を募集しています。登録方法など、詳しくはお問い合わせください。

サポートの内容 ホームステイの受け入れ、通訳・翻訳、外国語講師、日本語教室の講師・学習支援、日本の文化紹介、イベントスタッフ、生活支援など

